

職業実践専門課程として認定する専修学校の専門課程の推薦について

文 部 科 学 大 臣 殿

平成29年10月3日

下記の専修学校の専門課程を職業実践専門課程として認定する課程として推薦します。

記

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																							
大阪デザイナー専門学校	昭和52年4月1日	青山 直	〒530-0003 大阪府大阪市北区堂島2-3-20 (電話) 06-6345-4676																							
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																							
学校法人東京安達学園	昭和42年1月12日	安達 暁子	〒102-0081 東京都千代田区四番町11番地 (電話) 03-5283-9757																							
分野	認定課程名	認定学科名		専門士	高度専門士																					
文化・教養	デザイン専門課程	グラフィックデザイン学科		平成 6年文部科学省 告示第 84 号																						
学科の目的	情報やイメージ、メッセージを印刷物を介して伝達するグラフィックデザイン。その発送や表現に必要な知識と技術を基礎から学び、様々な媒体の特性に合ったデザインスキルを、実践的な課題制作や産学協同課題にて習得する。																									
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験 実技																				
2 年	昼間	1,920 時間	275 時間		1,645 時間																					
単位時間																										
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内数)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																					
200 人	143 人	6 人	3 人	14 人	17 人																					
学期制度	■前期：4月1日～9月30日 ■後期：10月1日～3月31日		成績評価	■成績表： <input checked="" type="checkbox"/> 有 ■成績評価の基準・方法 課題評価、試験等の評価による																						
長期休み	■夏 季：7月26日～9月5日 ■冬 季：12月20日～1月9日 ■春 季：3月20日～4月4日		卒業・進級 条件	■卒業条件：規定単位の修得及び卒業課題に 合格し、且つ学費の完納者。 ■進級条件：規定単位の修得及び進級課題に 合格する。																						
学修支援等	■クラス担任制： <input checked="" type="checkbox"/> 有 ■個別相談・指導等の対応 本人及び保護者へのカウンセリング等		課外活動	■課外活動の種類 学校祭、研修旅行等 ■サークル活動： <input checked="" type="checkbox"/> 無																						
就職等の 状況	■主な就職先、業界等(平成28年度卒業生) グラフィックデザイン事務所、広告代理店、印刷会社 ■就職指導内容 業界把握や自己分析などの就職対策授業：ジョブワークとジョブア クセスを通年で実施。事務所見学や合同業界説明会など就職対策イ ベントの開催。 ■卒業生数 58 人 ■就職希望者数 58 人 ■就職者数 57 人 ■就職率 98.3 % ■卒業生に占める就職者の割合 ： 98.3 % ■その他 内、就職活動継続中 1人 (平成 28 年度卒業生に関する 平成29年5月1日 時点の情報)		主な学修成果 (資格・検定等)	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (平成28年度卒業生に関する平成29年5月1日時点の情報) <table border="1" style="width: 100%;"><thead><tr><th>資格・検定名</th><th>種別</th><th>受験者数</th><th>合格者数</th></tr></thead><tbody><tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr><tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr><tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr><tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr></tbody></table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該 当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄 (例)認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等			資格・検定名	種別	受験者数	合格者数																
資格・検定名	種別	受験者数	合格者数																							
中途退学 の現状	■中途退学者 8 名 平成28年4月1日時点において、在学者 143名(平成28年4月1日入学者を含む) 平成29年3月31日時点において、在学者 135名(平成29年3月31日卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 (例)学校生活への不適合・経済的問題・進路変更等 経済的問題、進路変更、体調不良。その他イラストレーション学科転科2名、夜間部転部3名、東京デザイナー学院転校1名 ■中退防止・中退者支援のための取組 (例)カウンセリング・再入学・転科の実施等 欠席者への日々の電話連絡、学校行事(学校祭、合宿等)への参加促進		■中退率 5.6 %																							
経済的支援 制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度： <input checked="" type="checkbox"/> 有・無 ※有の場合、制度内容を記入 校友会入学時奨学金制度、校友会進級時奨学金制度、AO特待生制度 ■専門実践教育訓練給付： <input checked="" type="checkbox"/> 給付対象・ <input checked="" type="checkbox"/> 非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載																									
第三者による 学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価： <input checked="" type="checkbox"/> 有・無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)																									
当該学科の ホームページ URL	http://www.odc.ac.jp																									

授業科目等の概要

(デザイン専門課程 グラフィックデザイン学科) 平成 29年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			色彩論	色彩の基本を把握し、色彩調和や色による視覚効果を学習する。	1前	34	2	○			○		○		
○			視覚伝達論	伝達方法における視覚の特徴や役割を把握し自身の制作に反映させる。	1前	34	2	○			○		○		
○			デザイン史	人間が歴史の中で作り出してきたデザインの源流を探り、自身のデザインの提案にかす。	1後	34	2	○			○		○		
○			グラフィックデザイン概論	グラフィックデザイン制作に伴う用語や媒体の制作プロセスを実例で学習する。	1後	34	2	○			○		○		
○			クリエイティブワーク	アイデアの発想方法やメッセージを形にする過程を理解し、様々な表現方法を学習し制作する。	1前	68	4			○	○		○		
○			グラフィックデザイン基礎	配色やレイアウトなど、グラフィックデザインの基礎となる構成力を学習し制作する。	1通	136	4			○	○		○		
○			イラスト基礎	デザインやイラストレーションに必要な基本的描写力の習得。	1前	68	4			○	○		○		
○			デジタルワーク	マック及びイラストレーター・フォトショップの基本的な知識と技術の習得。	1通	136	4			○	○		○		
○			レタリング	グラフィックの重要な要素である文字の形や要素の知識と、それを描くための技術の習得。	1前	68	4			○	○		○		
○			カメラワーク	写真・カメラの基礎知識を学び、専門的な撮影方法を習得する。校外ロケやスタジオ撮影も実施。	1前	68	4			○	○		○		
○			デザインアクセス	専攻分野を様々な角度から分析（作家作品研究）する事で自己の目的を明確にする。	1前	34	2	○			○		○		
○			広告基礎	平面広告媒体（ポスター・雑誌・新聞）の特性を理解し、実践的な過程・要領で制作する。	1後	68	4			○	○		○		
○			プランニング	企画力を養成。商品開発やイベント企画など、調査・立案から実制作・プレゼンまでを行う。	1後	68	4			○	○		○		
○			タイポグラフィ	文字に関するデザインの知識と技術の習得。ロゴタイプやマークの役割の理解と表現力を養う。	1後	68	4			○	○		○		
○			ジョブアクセス	自己分析や履歴書の制作など、就職活動の指導を行う。	1後	34	2	○			○		○		
	○		パッケージ基礎	様々な紙の特性を理解把握し、平面から立体へのプロセスを実験制作する。	1後	68	4			○	○		○		
	○		編集基礎	編集デザインの基本的知識の習得と編集ソフト「インデザイン」を使用した作品制作。	1後	68	4			○	○		○		
	○		アート制作基礎	自己の世界観を表現するための技法を学び、作品を制作する。	1後	68	4			○	○		○		
合計			16 科目		1,020 単位時間(単位)										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
課題制作や試験等に合格し、且つ卒業制作を受理されること	1 学年の学期区分	2 期
	1 学期の授業期間	17 週

(留意事項)

1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。

2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

(別紙様式 1-2)

授業科目等の概要

(デザイン専門課程 グラフィックデザイン学科) 平成 29年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			ジョブエクササイズ	OB講演会や産学協同課題を通じ、実践的なデザインの知識とスキルを習得する。	2通	60	2	△		○	○		○	○	
○			カラーコーディネート	色彩の基礎知識をベースにデザインに活用できる色彩計画の手本を学習する。	2通	60	2	○			○			○	
○			DTP	イラストレーターを中心にデジタルでの印刷物制作技術を学び、実践的な作品を制作する。	2通	120	4			○	○			○	
○			デジタルデザイン	他学科とのコラボレーション課題や産学協同課題、ポートフォリオ制作など様々なデザイン制作を行う。	2通	120	4			○	○			○	
○			Webデザイン	基本であるHTMLのタグ打ちから、CSSなどを利用した実践的なサイト制作まで行う。	2通	120	4			○	○			○	
○			ジョブアクセス	就職実現の為の個別就職指導。作品ファイルのアドバイスとカウンセリング。	2通	60	2	○			○			○	
	○		グラフィックデザイン	店舗やイベントなどを企画し、そのロゴマークの制作とグッズ展開を行う。専攻課題制作。	2通	120	4			○	○			○	
	○		広告デザイン	商品や企業、イベントの広告を、独自のアイデアや表現方法で展開する。専攻課題制作。	2通	120	4			○	○			○	
	○		パッケージデザイン	様々な素材（紙・布・金属など）による実践的パッケージの制作。専攻課題制作。	2通	120	4			○	○			○	
	○		雑誌編集・ブックデザイン	出版を仮想した雑誌編集、または新しい切り口の書籍の企画と制作。専攻課題制作。	2通	120	4			○	○			○	
	○		グラフィックアート	文字やイラスト、画像を用いて自身の世界観をデジタルで表現する。専攻課題制作。	2通	120	4			○	○			○	
	○		Web専攻デザイン	CSSやGIFアニメを駆使した実践的なサイト制作を行う。専攻課題制作。	2通	120	4			○	○			○	
	○		製本	基本的な製本の知識と様々な材料の特性の把握と制作。	2通	120	4			○	○			○	
	○		デザインゼミ	デザインに必要なコミュニケーション能力を養う企画の考案や作品制作を行う。	2通	120	4			○	○			○	
	○		シルクスクリーン	Tシャツなどの印刷技法である孔版印刷：シルクスクリーン印刷の実践。	2通	120	4			○	○			○	
	○		商品企画・SP	マーケティングの知識を習得し、実践的な商品企画とそのSP:販売促進を行う。	2通	120	4			○	○			○	
	○		コピーライティング	魅力的な文章表現の研究。キャッチコピーからポディーコピー	2通	120	4			○	○			○	
	○		造本装丁	専門的な製本の知識と様々な材料の特性の把握と制作。	2通	120	4			○	○			○	
合計				8科目	900単位時間(単位)										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
課題制作や試験等に合格し、且つ卒業制作を受理されること	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。